ふるさと探訪

第83回　旧石根郵便局

右から左へ読む丁寧な仕事が施されたレリーフ文字に時の流れが感じられます

国道11号の小松町大頭交差点のすぐ近くに、一軒の洋風の建物があります。長い時間をこの地で過ごしてきた風格をたたえていますが、今では訪れる人もなく、玄関アーチに遺された「石根郵便局」のレリーフ文字によって、この建物がかつて郵便局舎であったことをうかがい知ることができます。

明治30年に設置された大頭郵便取扱所は大頭郵便局へと昇格後、大正元年に石根郵便局と改称され、このモダンな建物が建てられました。

丹原地区への分岐点に位置するこの辺りは、映画館やパチンコ店、さらには呉服店や酒屋・飲食店などが立ち並び、往時にはたいそうな賑わいを見せていたそうです。

近代日本の黎明期に、郵便局としての役目を果たした後は、書道教育の場として用いられた時期もあったそうで、子どもたちの元気な声がその高い天井に響いていたのかも知れません。

なお、現在の石根郵便局は、この建物から西１５０メートルほどの所にあります。

※この建物は個人の所有物であり勝手に立ち入ることはできません